

---

## 3 町民意向の把握

---

### 3.1 住民アンケート

---

#### 3.1.1 調査目的及び調査方法等

**調査目的:** 本調査は、宇美町地域共働のためのコミュニティ現状分析業務に当たって、町への愛着度や今後の定住意向をはじめ、生活や地域について日頃感じていることなど、町民の意識構造の実態を把握し、コミュニティ支援施策の基礎資料を得るために実施した。

このうち、都市計画マスタープランを検討していくうえでの基礎資料として、当調査結果から、関連する項目を整理した。

**調査対象:** 無作為に抽出した 20 歳以上の町民 1,000 名

**調査方法:** 郵送法(郵送による配布・回収)

**調査時期:** 平成 25 年6月

**回収数:** 493(回収率 49.3%)

**有効回収数:** 481(有効回収率 48.1%)

#### 3.1.2 回答者の属性

**性別:** 女性(60.1%)、男性(39.3%)

**年齢:** 60 歳代(24.7%)、50 歳代(19.3%)、70 歳以上(19.3%)、30 歳代(16.2%)、40 歳代(15.4%)、20 歳代(5.0%)

**職業:** 主婦(夫)(21.4%)、その他サービス業等(21.0%)、パートタイム・アルバイト(20.6%)、無職(18.7%)、製造業・建設業(12.9%)、卸小売・飲食業(2.3%)、学生・その他(2.1%)、農林水産業(0.6%)

**就業先・通勤先:** 町外(42.2%)、就学・勤務していない(30.8%)、町内(20.6%)

**居住年数:** 20 年以上(60.5%)、10 年以上 20 年未満(20.6%)、5 年以上 10 年未満(9.8%)、5 年未満(8.7%)

**居住地区:** 原田小学校区(26.8%)、宇美小学校区(25.6%)、桜原小学校区(18.7%)、宇美東小学校区(17.5%)、井野小学校区(10.6%)

居住地区の区分図



### 3.1.3 調査結果

#### (1) 宇美町への愛着度、定住意向などについて

##### ① 町への愛着度

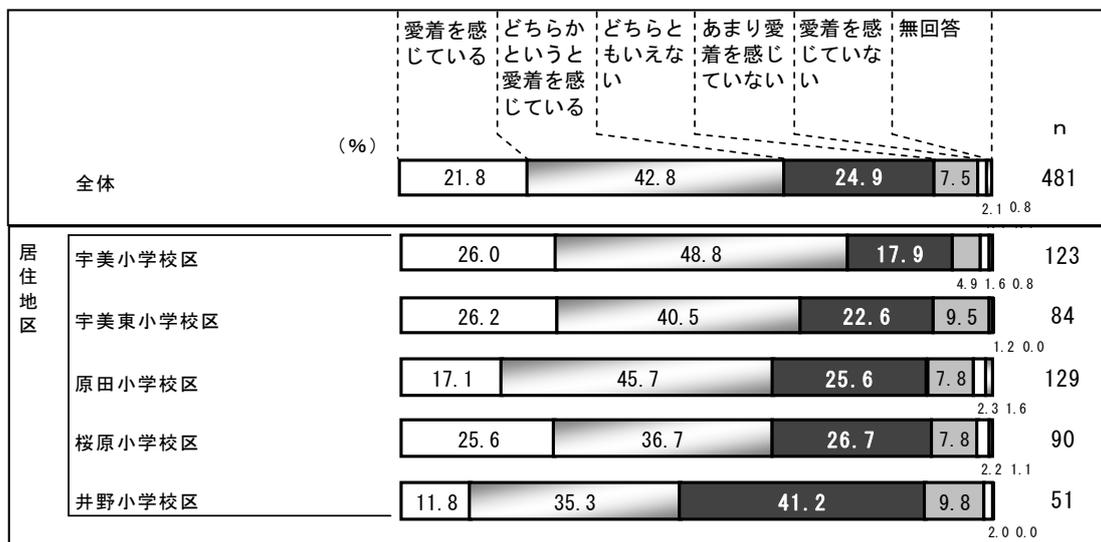
問2 あなたは、宇美町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。



○「どちらかという愛着を感じている」と答えた人が42.8%で最も多く、これに「愛着を感じている」(21.8%)をあわせた“愛着を感じている”という人は64.6%となっています。

これに対して、“愛着を感じていない”(「あまり愛着を感じていない」(7.5%)、及び「愛着を感じていない」(2.1%)の合計)は9.6%にとどまり、町への愛着度はかなり高いといえます。

○居住地区別では、“愛着を感じている”率は、宇美小学校区で高く、井野小学校区では低くなっています。



#### 数値の基本的な取り扱いについて

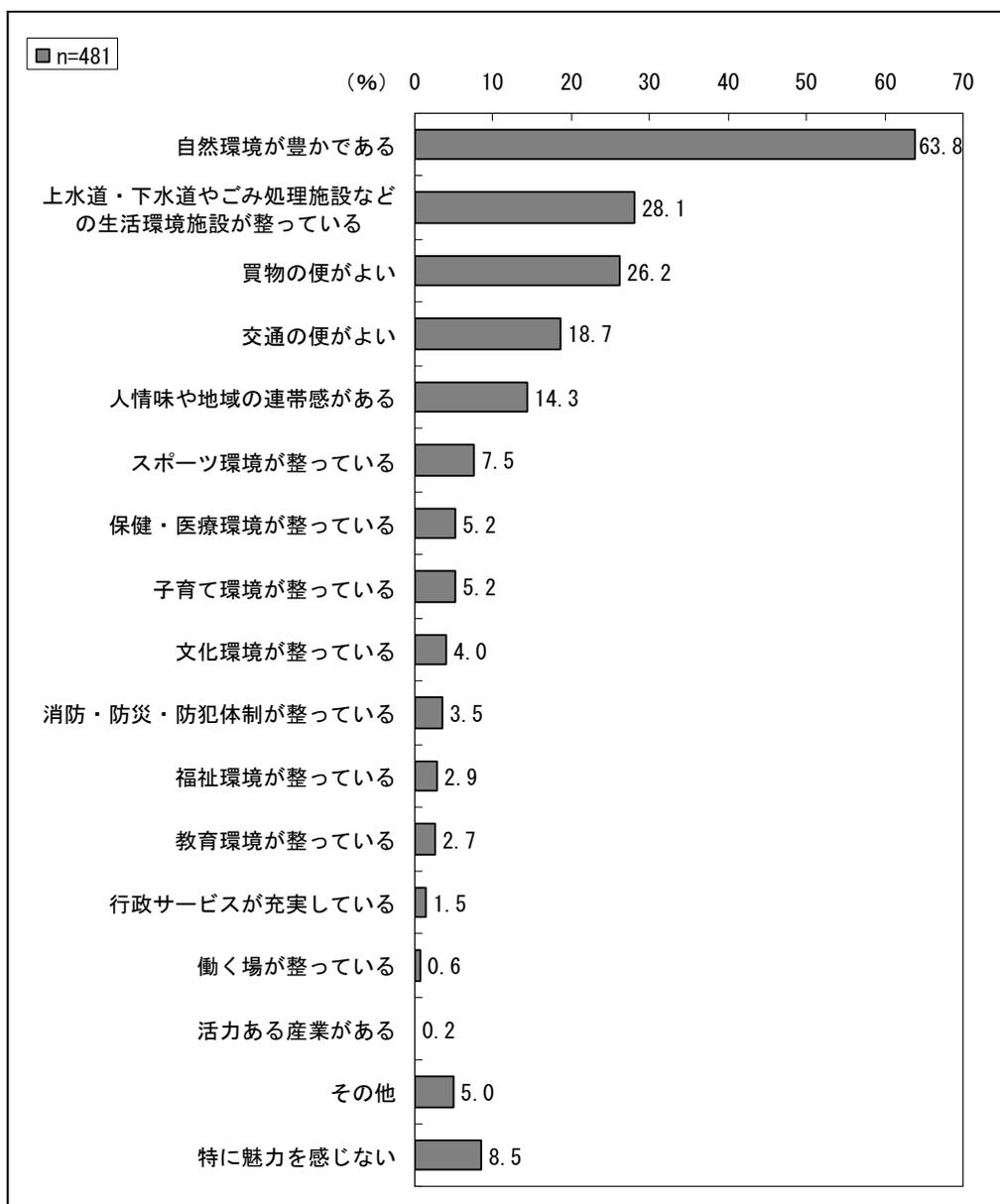
- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問です。従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④グラフの表側は表記のため文字を省略している場合があります。

## ② 宇美町の魅力

問3 あなたは、宇美町のどのようなところが魅力だと思いますか。【複数回答】



- 「自然環境が豊かである」(63.8%)が突出して高くなっています。
- これに次いで、「上水道・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている」(28.1%)、「買物の便がよい」(26.2%)、「交通の便がよい」(18.7%)、「人情味や地域の連帯感がある」(14.3%)、がやや高くなっています。
- 居住地区別では、町全体で第1位の「自然が豊かである」がどの地区でも第1位となっています。
- 宇美小学校区以外では、第2位は「生活環境施設が整っている」となっていますが、商業施設の集積やJR宇美駅が立地する宇美小学校区においては、第2位は「買い物の便がよい」、第3位は「交通の便がよい」となっており、「生活環境施設が整っている」は第4位になっています。



(単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		自然環境が豊かである 63.8	生活環境施設が整っている 28.1	買物の便がよい 26.2	交通の便がよい 18.7	人情味や地域の連帯感がある 14.3
居住地区	宇美小学校区	自然環境が豊かである 51.2	買物の便がよい 36.6	交通の便がよい 35.8	生活環境施設が整っている 23.6	人情味や地域の連帯感がある 19.5
	宇美東小学校区	自然環境が豊かである 75.0	生活環境施設が整っている 20.2	買物の便がよい 14.3	人情味や地域の連帯感がある 13.1	スポーツ環境が整っている 8.3
	原田小学校区	自然環境が豊かである 64.3	生活環境施設が整っている 32.6	買物の便がよい 25.6	交通の便がよい 10.1	スポーツ環境が整っている 9.3
	桜原小学校区	自然環境が豊かである 72.2	生活環境施設が整っている 30.0	買物の便がよい 25.6	交通の便がよい 21.1	人情味や地域の連帯感がある 16.7
	井野小学校区	自然環境が豊かである 62.7	生活環境施設が整っている 35.3	買物の便がよい 25.5	交通の便がよい 17.6	人情味や地域の連帯感がある 13.7

灰色の塗りつぶしは30%以上

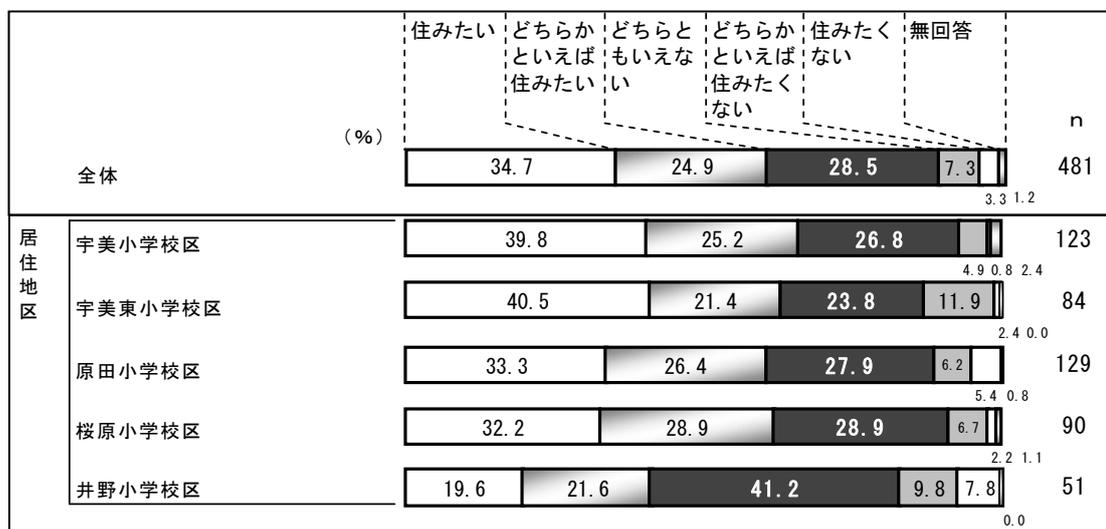
### ③ 今後の定住意向

問4 あなたは、これからも宇美町に住みたいと思いますか。



○「住みたい」と答えた人が34.7%と最も多く、これに「どちらかといえば住みたい」(24.9%)をあわせた59.6%の人が「住み続けたい」という意向を示しています。一方、「どちらかといえば住みたくない」(7.3%)及び「住みたくない」(3.3%)と答えた「住みたくない」という人の合計は10.6%にとどまり、定住意向は強いといえます。

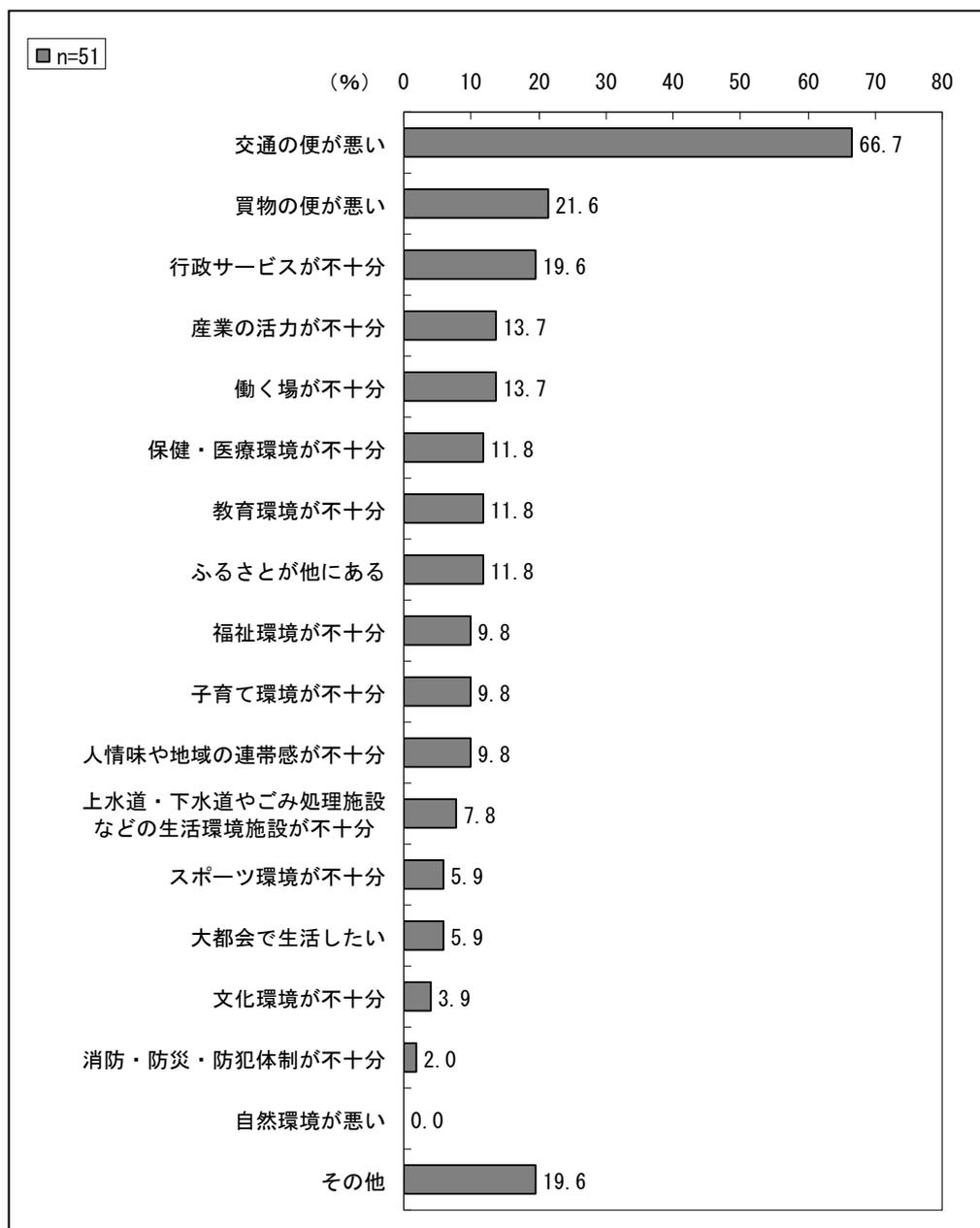
○居住地区別に「住み続けたい」率をみると、宇美小学校区(65.0%)、宇美東小学校区(61.9%)、桜原小学校区(61.1%)、原田小学校区(59.7%)、井野小学校区(41.2%)となっています。



④ 住みたくない主な理由

※問4で「4.」または「5.」と回答した方におたずねします  
 問4付問 その主な理由はなんですか。【複数回答】

○“住みたくない”と答えた51人(全体の10.6%)に、住みたくない主な理由についてたずねたところ、「交通の便が悪い」(66.7%)が突出して高くなっており、次いで「買物の便が悪い」(21.6%)、「行政サービスが不十分」(19.6%)がやや高くなっています。



## (2) 宇美町のまちづくりに対する評価について

### ① まちの各環境に関する満足度と重要度の相関（優先度）

問5 宇美町では、これまで、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

(1) 満足度 あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。

(2) 重要度 あなたは、以下の項目について、今後どの程度重視していますか。



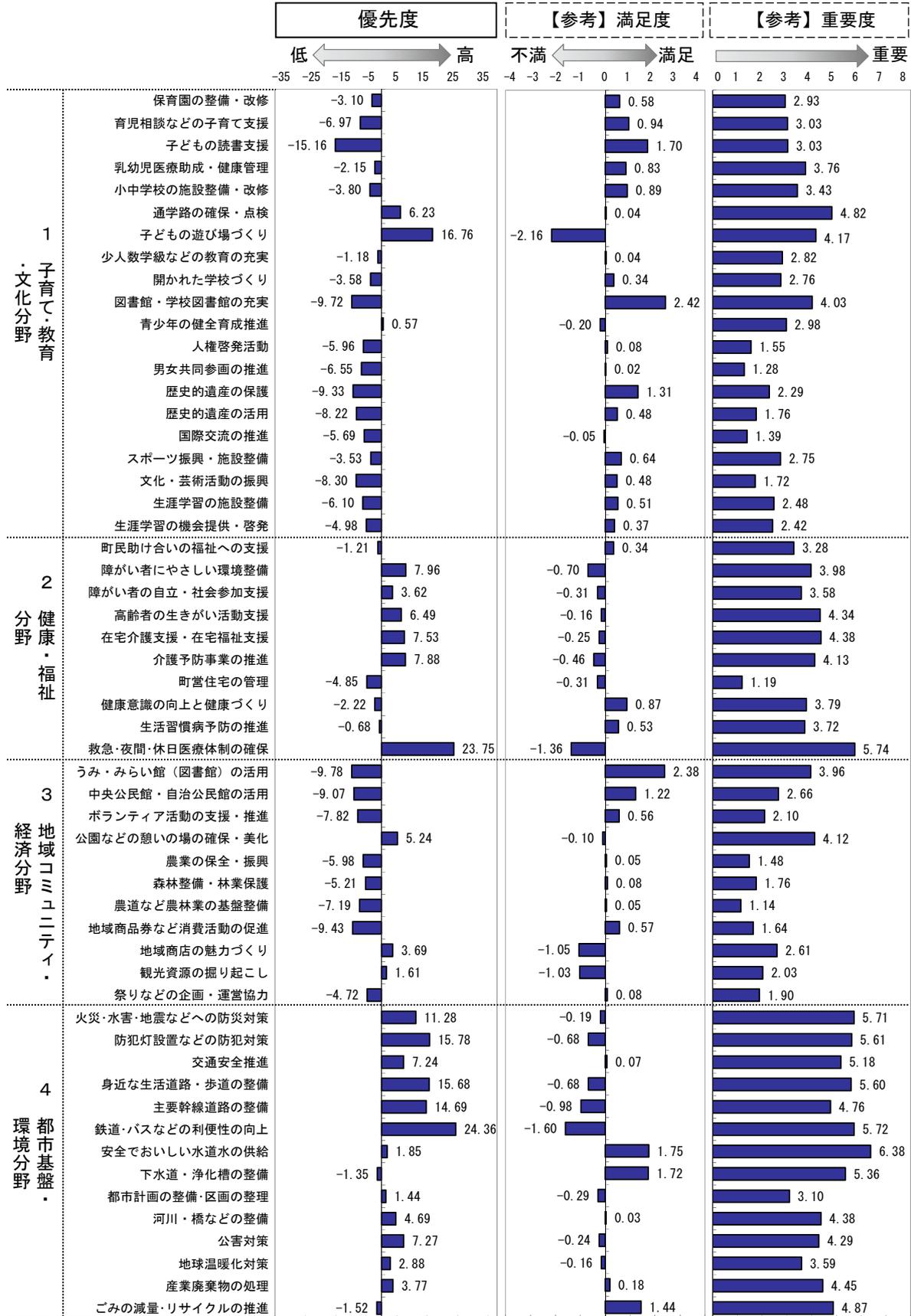
- 満足度と重要度の関係から優先度を整理しました。(※下記、注釈参照)
- 「鉄道・バスなどの利便性の向上」(24.36点)の優先度が最も高く、次いで「救急・夜間・休日医療体制の確保」(23.75点)、「子どもの遊び場づくり」(16.76点)、「防犯灯設置などの防犯対策」(15.78点)、「身近な生活道路・歩道の整備」(15.68点)、「主要幹線道路の整備」(14.69点)、「火災・水害・地震などへの防災対策」(11.28点)となっています。
- 優先度が最も高い「鉄道・バスなどの利便性の向上」については、宇美町に住みたくない主な理由に関する設問で「交通の便が悪い」の回答が最も高くなっていることから、町民に強く求められていると推測できます。
- 居住地区ごとでは、宇美小学校区以外の居住地区で「鉄道・バスなどの利便性の向上」が特に高くなっています。これに次いで身近な生活環境に関する項目が高く、原田小学校区、宇美東小学校区及び桜原小学校区においては「主要幹線道路の整備」が高くなっています。宇美小学校区は、身近な生活環境に関する項目が高くなっています。

#### ※優先度について

- ・満足度が低く、重要度が高いものは「優先度が高く」なります。
- ・逆に、満足度が高く、重要度が低いものは「優先度が低く」なります。

町全体

(単位：評価点)



## ■居住地区ごとの優先度の上位項目（10点以上）

### 宇美小学校区

- ① 「救急・夜間・休日医療体制の確保」(25.02点)
- ② 「子どもの遊び場づくり」(21.09点)
- ③ 「通学路の確保・点検」(19.41点)
- ④ 「身近な生活道路・歩道の整備」(16.25点)
- ⑤ 「防犯灯設置などの防犯対策」(15.23点)
- ⑥ 「主要幹線道路の整備」(10.70点)

**太文字** : 施設や交通に関する項目  
下線(波線): 上記のうち20点を超える  
下線(直線): 上記のうち15点を超える

### 優先度の高い項目(施設・交通)

- ・ 身近な生活環境(子どもの遊び場、通学路、生活道路・歩道、防犯対策)
- ・ 主要幹線道路の整備

### 宇美東小学校区

- ① 「鉄道・バスなどの利便性の向上」(28.10点)
- ② 「救急・夜間・休日医療体制の確保」(22.45点)
- ③ 「防犯灯設置などの防犯対策」(18.63点)
- ④ 「身近な生活道路・歩道の整備」(16.77点)
- ⑤ 「主要幹線道路の整備」(13.74点)
- ⑥ 「高齢者の生きがい活動支援」(12.95点)
- ⑦ 「火災・水害・地震などへの防災対策」(11.06点)
- ⑧ 「介護予防事業の推進」(10.52点)
- ⑨ 「在宅介護支援・在宅福祉支援」(10.15点)

- ・ 鉄道・バスなどの利便性向上
- ・ 身近な生活環境(防犯・防災対策、生活道路・歩道)
- ・ 主要幹線道路の整備

### 原田小学校区

- ① 「鉄道・バスなどの利便性の向上」(29.88点)
- ② 「救急・夜間・休日医療体制の確保」(24.66点)
- ③ 「防犯灯設置などの防犯対策」(19.35点)
- ④ 「主要幹線道路の整備」(16.85点)
- ⑤ 「火災・水害・地震などへの防災対策」(15.15点)
- ⑥ 「身近な生活道路・歩道の整備」(14.19点)
- ⑦ 「子どもの遊び場づくり」(11.32点)

- ・ 鉄道・バスなどの利便性向上
- ・ 主要幹線道路の整備
- ・ 身近な生活環境(防犯・防災対策、生活道路・歩道、子供の遊び場)

### 桜原小学校区

- ① 「鉄道・バスなどの利便性の向上」(27.04点)
- ② 「子どもの遊び場づくり」(16.83点)
- ③ 「主要幹線道路の整備」(13.43点)
- ④ 「救急・夜間・休日医療体制の確保」(12.86点)
- ⑤ 「火災・水害・地震などへの防災対策」(12.38点)
- ⑥ 「身近な生活道路・歩道の整備」(10.94点)
- ⑦ 「防犯灯設置などの防犯対策」(10.32点)

- ・ 鉄道・バスなどの利便性向上
- ・ 身近な生活環境(子供の遊び場、防犯・防災対策、生活道路・歩道)
- ・ 主要幹線道路の整備

### 井野小学校区

- ① 「鉄道・バスなどの利便性の向上」(20.66点)
- ② 「子どもの遊び場づくり」(18.60点)
- ③ 「身近な生活道路・歩道の整備」(16.14点)
- ④ 「救急・夜間・休日医療体制の確保」(14.07点)
- ⑤ 「通学路の確保・点検」(12.91点)
- ⑥ 「公害対策」(10.42点)

- ・ 鉄道・バスなどの利便性向上
- ・ 身近な生活環境(子供の遊び場、生活道路・歩道、通学路)

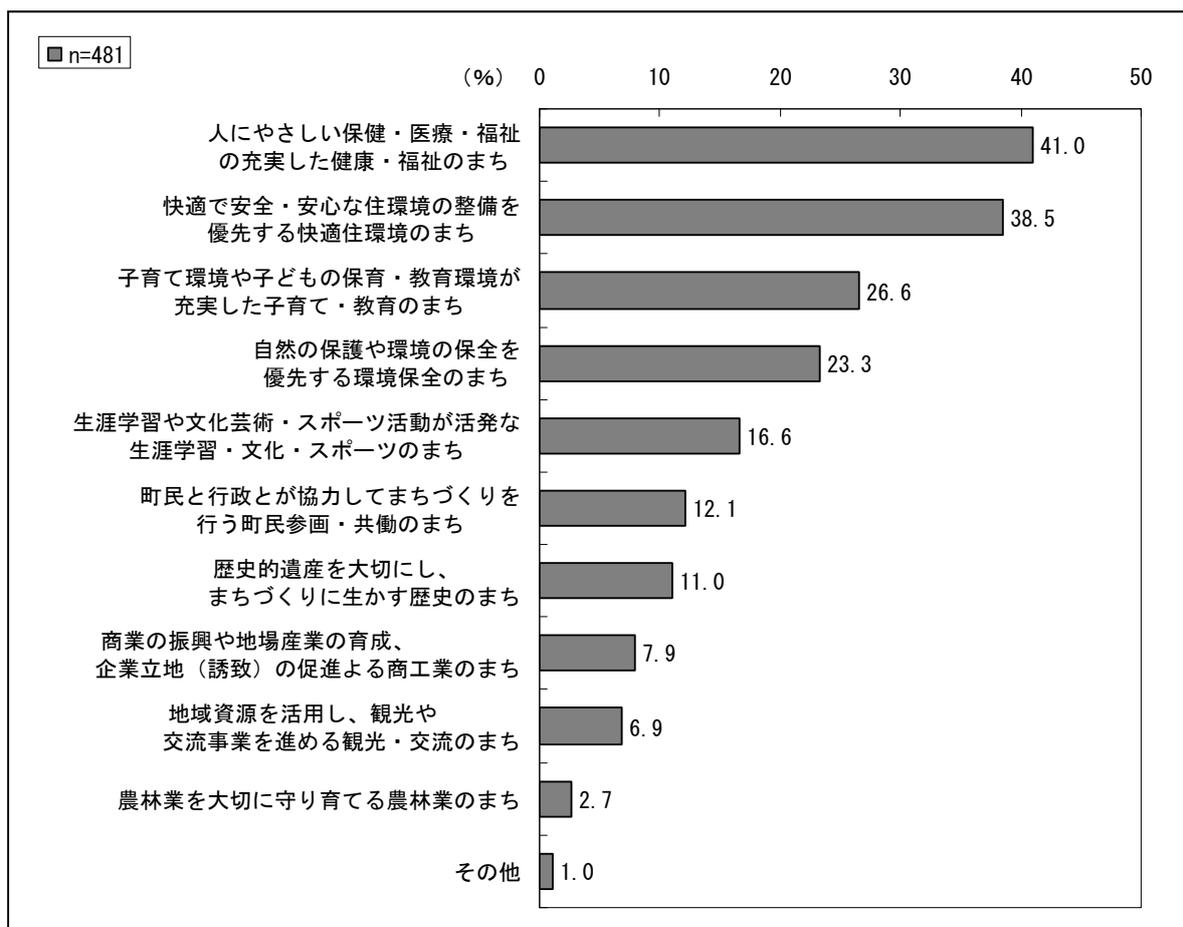
### (3) 今後のまちづくりに向けて

#### ① 今後のまちづくりの特色について

問6 あなたは、今後のまちづくりにおいて、宇美町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】



- 「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」(41.0%)が最も高く、次いで「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」(38.5%)、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」(26.6%)、「自然の保護や環境の保全を優先する環境保全のまち」(23.3%)、「生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発な生涯学習・文化・スポーツのまち」(16.6%)、「町民と行政とが協力してまちづくりを行う町民参画・共働のまち」(12.1%)、「歴史的遺産を大切にし、まちづくりに生かす歴史のまち」(11.0%)となっています。
- 居住地区別では、町全体で第1位の「健康・福祉のまち」、第2位の「快適住環境のまち」が、どの居住地区でも上位を占めています。宇美小学校区では「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」、宇美東小学校区では「自然の保護や環境の保全を優先する環境保全のまち」の率が、他の居住地区よりも高くなっています。



(単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		健康・福祉のまち 41.0	快適住環境のまち 38.5	子育て・教育のまち 26.6	環境保全のまち 23.3	生涯学習・文化・ スポーツのまち 16.6
居住地区	宇美 小学校区	健康・福祉のまち 42.3	快適住環境のまち 35.0	<b>子育て・教育のまち 35.0</b>	環境保全のまち 23.6	歴史のまち 14.6
	宇美東 小学校区	健康・福祉のまち 45.2	<b>環境保全のまち 34.5</b>	快適住環境のまち 33.3	子育て・教育のまち 22.6	生涯学習・文化・ スポーツのまち 14.3
	原田 小学校区	快適住環境のまち 43.4	健康・福祉のまち 43.4	子育て・教育のまち 22.5	生涯学習・文化・ スポーツのまち 21.7	環境保全のまち 17.8
	桜原 小学校区	快適住環境のまち 41.1	健康・福祉のまち 31.1	子育て・教育のまち 23.3	環境保全のまち 21.1	生涯学習・文化・ スポーツのまち 15.6
	井野 小学校区	快適住環境のまち 39.2	健康・福祉のまち 39.2	子育て・教育のまち 29.4	環境保全のまち 23.5	歴史のまち 15.7

灰色の塗りつぶしは30%以上

## 3.2 町民まちづくり検討会

### 3.2.1 実施概要

**実施内容：** 住民の考える地区ごとの将来像を把握するため、第1回では、第2回に向けての足慣らしとして「住みたい地域って、どんな地域」をテーマにワールドカフェ方式でフリーディスカッションを行い、第2回・第3回ではワークショップ方式により、5つの小学校区ごとの地区振興計画を作成しました。

第4回では、地区振興計画や宇美町の現況等を踏まえて作成し、策定委員会第3回会議で報告した全体構想を、5つの地域に分割した地域別構想について、それぞれの地域で検討しました。

**対象者：** 49 行政区ごとの各2～3名の代表者

日時 [参加者]	実施内容
<b>第1回</b> 平成25年11月9日(土) 9時30分～12時30分 [参加者:99名]	<b>「町民まちづくり検討会の立上げ」</b> ・会議の趣旨説明 ・宇美町のコミュニティの現状と課題の報告 ・ワールドカフェの実施「住みたい地域って、どんな地域？」
<b>第2回</b> 平成25年11月23日(土) 9時30分～12時30分 [参加者:101名]	<b>「地区の将来像の作成」</b> ・ワークショップの実施「地区振興計画の検討(地域の資源、特性、課題、実施すべき取り組み、将来像の検討)」
<b>第3回</b> 平成25年12月14日(土) 9時30分～12時30分 [参加者:94名]	<b>「コミュニティ推進計画の地区振興計画を固める」</b> ・検討会の実施「地区振興計画の完成」 ・コミュニティ推進計画のについて ・モデルコミュニティ推進校区について
<b>第4回</b> 平成26年8月23日(土) 9時30分～12時30分 [参加者:85名]	<b>「地域の重点的な取り組みの抽出、都市づくりの目標の設定」</b> ・宇美町都市計画マスタープラン『全体構想』の報告 ・地域の都市づくりの内容確認 ・地域の重点的な取り組みの抽出 ・地域の都市づくりの目標の設定

場所：働く婦人の家(し～ず・うみ) 大ホール

※住民意見の都市計画マスタープランへの反映について：住民の考える地区の将来像は、第2回で検討、第3回で取りまとめた地区振興計画に反映されているため、都市計画マスタープランへ反映する住民意向は「地区振興計画」の内容を「全体構想」に反映しました。この「全体構想」をもとに作成した地域別構想(案)について第4回で検討し、地域別構想に意見を反映しました。また、地域別構想の各地域の都市づくりの目標は、町民まちづくり検討会でいただいたご意見を採用しています。(宇美東地域は他の地域と表現をあわせるため文章化しています。)

※地区振興計画の固有名詞などの表現について：地区振興計画は、住民主体で作成したもので、固有名詞などは作成されたままの表現にしています。

## 3.2.2 地区振興計画のまとめ

## (1) 宇美地区（宇美小学校区）

1. 地区の特性と保有する資源	
位置	・町の中心市街地を含め、町域の最北端から最南端まで縦に長い地域
都市機能	・JR香椎線の宇美駅(福岡市香椎等とを結ぶ)、バス路線を有する ・町の中心市街地としての機能を有する ・公共施設が多く立地(宇美小学校、宇美中学校、武道館、宇美公園、歴史民俗資料館、ハピネス(トレーニング施設)、老人福祉センターなど) ・県道68号線沿いに商業施設や由緒ある酒蔵などが立地
歴史・文化	・歴史と格式のある宇美八幡宮が立地(応神天皇をまつる、境内の多くの樟(湯蓋の森、衣掛の森など)、楽しい催し(稚児行列、神楽、放生会、相撲大会など)) ・文化的史跡が豊富(四王寺史跡、光正寺古墳、神領古墳、貴船神社など) ・四王寺山(国の特別史跡に指定されている大野城跡、四王寺県民の森など)
自然	・豊かな山林などの自然と都市的機能が調和した地区 ・河川環境が豊か(宇美川。内野川のホタルは、大都市近郊において貴重な存在)
2. 地区の抱える課題と課題解決の方向性	
	<b>課題</b>
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活道路が狭く交通混雑がある。歩道の拡充等が必要</li> <li>上下水道の未整備区域の整備推進</li> <li>福祉巡回バスの利便性の確保</li> <li>JR宇美駅周辺の環境整備、商業施設の整備・充実</li> <li>市街地内の駐車場の整備</li> <li>周遊ルートの案内板の設置、宇美八幡宮と太宰府天満宮を結ぶバス路線の増設等</li> <li>夜、暗い道への街路灯の整備、災害時の避難等の対策</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化、若者の地区外流出が進行</li> <li>役員の成り手が少なく、地区を支える人材の確保が必要</li> <li>一人暮らしの高齢者の増加は今後の重要な課題</li> </ul>
	<b>課題解決の方向性</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が主体となり行政が後押しする体制の確立(生活の利便性・安全性の確保、道路の整備や河川の整備・美化、高齢者や子どもの居場所の確保など)</li> </ul>
3. 地区の将来像	
<b>宇美八幡宮や四王寺を生かし、人と人がつながり、心と地区経済が豊かなにぎわいのある地区</b>	
4. 地区における重点的な取り組み	
歴史・自然資源を活用した魅力と緑あふれる人と人のつながりが感じられるまちづくりを目指す。	
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の安全確保(学校(PTA)・役場と緊密な連携をとり、問題箇所の選定と対策を図る)</li> <li>災害時避難施設の確保(災害に強い施設)</li> <li>交通混雑解消に向けた道路整備</li> <li>県民の森周辺の土地を整備し、集客を進める</li> <li>上下水道の設置(区長、近隣区の区長及び住民が協力して役場に協力設置の取り組みを行う)</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史民俗資料館や宇美八幡があるのでミニ観光案内を中心部に設置</li> <li>駅、商店街、酒蔵などの周遊ルートの整備</li> <li>地区観光マップの作成(光正寺古墳～四王寺)</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区コミュニティの充実(老人会・育成会・婦人会など)、行事の実施(運動会・夏まつりなど)による交流促進</li> <li>宇美小学校・中学校行事への参加(運動会・宇美小まつり・環境整備・コミュニティスクール)</li> <li>土砂災害・水害への具体的取り組み(行政)の区民への効果的な周知方法の検討、連絡網策定のための基準づくり</li> </ul>

**(2) 宇美東地区（宇美東小学校区）**

1. 地区の特性と保有する資源	
位置	・町の最東部に位置し、飯塚市、筑紫野市等と接する
土地利用	・住宅地（一戸建てと集合住宅が混在）と三郡山系で構成
都市機能	・大小の公園施設が多い（塔ノ尾公園、原の前スポーツ公園、昭和の森、とびたけ緑地公園、とびたけ西公園、とびいちの杜など） ・福岡刑務所（九州最大、日本第三の規模。刑務官の地域貢献）を有する
歴史・文化	・歴史的な資源が多い（極楽寺跡、正楽寺跡、一滴寺跡、氏神様をはじめ、どんと焼（鬼火焼）の行事等）
自然	・自然が豊か（森林資源と水資源。山菜やあけびなどの野草が豊富な山）
コミュニティ	・「ラブアース」への参加意識が高く、健康で知識経験豊かな高齢者も多い、水と緑の地区
2. 地区の抱える課題と課題解決の方向性	
課題	課題解決の方向性
都市機能	・交通の便や医療施設、商業施設、住宅地区道路の街路灯などに課題あり
自然・農地	・休耕田や耕作放棄地が多い ・自然特性から土砂災害などの自然災害と隣り合わせにある
コミュニティ	・住宅建設が同時期のため団塊世代が多く、少子高齢化の傾向にある
その他	・地区資源が宣伝されていない
	・山菜やタケノコ、山の実などの採集や加工の企画や伝統行事の復活・維持（もちつき・どんと焼）などによる地区の魅力の向上とそのPR ・若者（会社でも宣伝する）や元気な高齢者の社会参加の拡大 ・スポーツ活動の活発化、地区内での娯楽機能の整備、カルタ（百人一首）大会の継続などイベントの拡充 ・子ども達にとって魅力ある地区にする
3. 地区の将来像	
緑と水豊かな元気なまち ～若いも若きもいきいき伸びるひがしの里～	
4. 地区における重点的な取り組み	
みんなの手とみんなの足でつなぐ、年代問わず生きがいのあるまちを目指します。	
都市機能	・総合的な住環境の整備（交通、防犯、自然災害） ・昭和の森の有効活用（子供の遊び場、山登りの拠点、バーベキュー、デイキャンプ） ・施設の利用し易さの確保
景観	・景観面による規制と保全、有効活用
コミュニティ	・地域の活性化（盆踊り等） ・高齢者対策（生きがいつくり、見守り活動） ・官民協力体制（ボランティア活動等）の確立

## (3) 原田地区（原田小学校区）

1. 地区の特性と保有する資源									
位置 土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町のほぼ中央南部に位置し、南側は太宰府市に接する</li> <li>・古くからの農業地域と、丘の上にある新興住宅地域で構成される平静な町並み、工業団地、山間地から構成</li> </ul>								
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合スポーツ公園、南町民センター、リサイクルセンター、原田保育園、原田小学校、宇美南中学校の公共施設などが立地</li> <li>・学校環境が良く、スーパー等の生活利便施設も多い</li> </ul>								
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴船神社、勝田四王寺山道等歴史的資源があり、伝統行事(ほんげんぎょう、おこもり、盆綱引き)も行われる</li> </ul>								
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の景観を特徴づける田園や山林、きれいな川の流れは、豊かな自然を感じさせる。緑が多く、ホタルも生息</li> </ul>								
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治区の交流が盛んで、とより近所の昔ながらのつながりがある</li> <li>・高齢者が昔話や古い遊びを子どもたちに教える姿も見られる</li> </ul>								
2. 地区の抱える課題と課題解決の方向性									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>課題解決の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市基盤</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田園景観の整備、自然体験の場の確保</li> <li>・あいさつの心がけや地区の広報活動の活性化・通信手段の整備</li> <li>・イベント・サークル等の参加したくなる活動の開発、地区、行政、事業者の協力体制の確保</li> <li>・交通利便性の向上等</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>コミュニティ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を担う子ども達が誇りと愛着を持てる地区づくり</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>自然・農地</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	課題	課題解決の方向性	都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田園景観の整備、自然体験の場の確保</li> <li>・あいさつの心がけや地区の広報活動の活性化・通信手段の整備</li> <li>・イベント・サークル等の参加したくなる活動の開発、地区、行政、事業者の協力体制の確保</li> <li>・交通利便性の向上等</li> </ul>	コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を担う子ども達が誇りと愛着を持てる地区づくり</li> </ul>	自然・農地	
課題	課題解決の方向性								
都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田園景観の整備、自然体験の場の確保</li> <li>・あいさつの心がけや地区の広報活動の活性化・通信手段の整備</li> <li>・イベント・サークル等の参加したくなる活動の開発、地区、行政、事業者の協力体制の確保</li> <li>・交通利便性の向上等</li> </ul>								
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を担う子ども達が誇りと愛着を持てる地区づくり</li> </ul>								
自然・農地									
都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の交通手段の確保(公共交通が少なく、車がないと生活できないなど)</li> <li>・道路の安全対策・段差の解消</li> <li>・町営住宅や住宅の老朽化対策</li> <li>・住宅地への街路灯の整備</li> <li>・空き家対策</li> <li>・未整備地区への上下水道の整備</li> </ul>								
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間、地形(距離)のギャップによるコミュニティのかい離</li> <li>・高齢化への対応、</li> <li>・地区の活性化対策</li> </ul>								
自然・農地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒廃林、荒廃田への対策</li> </ul>								
3. 地区の将来像									
<p><b>原田っ子が「誇り」と「愛着」を持てる地区づくり</b>  <b>～豊かな人づくり、お隣さんづくり、顔と声を広げる運動の推進～</b></p>									
4. 地区における重点的な取り組み									
<p>新旧住民の交流により世代を超えて地区を守り育てることを目指します。</p>									
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもからお年寄りまで気軽に集える場所の確保</li> <li>・井戸端会議ができる場所を増やす</li> </ul>								
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡のPR、有効活用(観光資源に！)</li> </ul>								
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統やよいならわし、知恵を熟知している高齢者と子どもの交流</li> <li>・親子一緒に自然体験(収穫体験、川あそび、山菜とり、タケノコほり)</li> <li>・簡単な託児(遊んでもらう)→サロン</li> <li>・学校行事を活かしての地区の活性化</li> <li>・競技場を開放して地区ぐるみの運動会等の開催</li> <li>・老人会対抗のイベント(運動会・歌合戦など)を定期的に行いお年寄りに元気になってもらう</li> <li>・自治会に入る人を増やす</li> <li>・公民館の有効利用を考える</li> <li>・声掛け運動の実施</li> </ul>								

## (4) 桜原地区（桜原小学校区）

1. 地区の特性と保有する資源		
位置 土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の北部に位置し、東西に長い地区で、須恵町に接する</li> <li>・新興住宅などの住宅地と農業地域で構成。閑静な住宅地区</li> <li>・西部は若い世代が多く、東部は高齢化が進む</li> </ul>	
都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇美公園、図書館、中央公民館等の公共施設、医院などの生活利便施設が立地するが、東部地域からは遠く、コミュニティバスの増便等による利便性向上が必要</li> <li>・県道60号及び35号は交通量が多く、商業的資源になる</li> </ul>	
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神社の行事がある</li> <li>・旧炭鉱地には古い施設も現存し、撮影などでの活用が期待できる</li> </ul>	
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民は四季に寄り添い生活している意識がある</li> </ul>	
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り、有志の会、おやじの会など行事参加率が高い</li> <li>・コミュニティスクール活動が活発、自然体験など子どもの教育環境が豊か</li> <li>・子どもの数が多く、宝物は子ども</li> </ul>	
2. 地区の抱える課題と課題解決の方向性		
課題		
課題解決の方向性		
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道35号の拡幅に伴い、高齢者等の歩行者の横断が難しくなるなど、都市化による弊害がある</li> <li>・居住区域で問題点が異なる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数での訪問や声かけなどによる地区活動への参加促進</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化傾向にあり、独居老人の増加・孤立化が懸念される</li> <li>・子ども会育成会の入会者、役員のみが少なく</li> <li>・地区活動には、高齢な方の参加が多いが、40～50歳代の参加が少ない。これらの層の参加促進と情報交流活動が重要</li> <li>・子どもや高齢者の居場所づくり、地域の美化運動や健康づくり活動、住民の意識・マナーの向上などが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の活用等による交流機会の増加</li> <li>・子どもや高齢者の見守りの拡充</li> <li>・社会活動を担える高齢者の登録による、高齢者の活動団体（組織）の構築</li> </ul>
3. 地区の将来像		
むこう 100 軒両隣り手と手を取りあい自然と街が交わる桜原校区		
4. 地区における重点的な取り組み		
町に足を入れた時に花で輝いている地区づくり、あいさつ声かけ運動などによる地区の活性化を目指します。		
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩道のルート作り</li> <li>・道路花壇（花あふれる、美しいきれいなまちづくり）づくり</li> </ul>	
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの区に問題を共有する経験・キャリア・趣味嗜好別サポートクラブの立ち上げと事務局の設置（年齢問わない）</li> <li>・卓球、バレー、グランドゴルフ、カメラ、ジョギング、ウォーキング等の活動の展開</li> <li>・公民館活動の活発化、イベントの開設（もちつき大会・料理教室・盆踊りとおみこしの復活）</li> <li>・いきいきサロン（月2回）の開設</li> <li>・演芸会・夏まつり（子ども中心のイベント）の実施</li> <li>・健康に関する行動企画イベントの開催</li> <li>・高齢者と児童の交流のために具体的イベントの実施（例：ハロウィン）</li> <li>・育成会、老人会に区切らずみんなできりくめる仕組みづくり</li> <li>・登下校の学童の送り迎え</li> <li>・高齢者の人達が出てきやすいコミュニケーションの確保</li> <li>・地区内でお互いが気持ちよく挨拶を出来る雰囲気づくり</li> <li>・イルミネーションの設置（防犯面）</li> </ul>	

## (5) 井野地区（井野小学校区）

1. 地区の特性と保有する資源									
位置 土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の最西部に位置し、大野城市、志免町に接する</li> <li>・主にひばりが丘団地と田園地帯で構成。森林や河川等自然環境も豊か</li> <li>・新旧住宅が混在。近年、アパート等の増加により、世帯数が増加</li> </ul>								
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井野小学校、福岡県立宇美商業高等学校、公園やグラウンド、工業施設が立地</li> </ul>								
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の景観を特徴づける井野山は散歩、学習の場として活用され、住民の交流資源としても貴重な存在</li> </ul>								
文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りや風習は、観音浦古墳などとともに文化的環境をつくり出している</li> </ul>								
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会育成会の活動や小学校との合同運動会を通じて住民相互のコミュニケーションを図る</li> </ul>								
2. 地区の抱える課題と課題解決の方向性									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>課題解決の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           都市機能           <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道の整備</li> <li>・都市計画道路、町道、県道の整備等による交通渋滞緩和</li> <li>・登山者が急増している井野山林道の整備</li> <li>・少子高齢化への対応</li> <li>・冠水・土砂崩れ対策、災害時等に対する安全安心まちづくり</li> <li>・くつろげる場の整備等</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけ、見守り運動の推進</li> <li>・井野山を活用した交流の活性化や環境保全のための、井野山環境を守る会等の立ち上げ</li> <li>・災害時のう回路の整備</li> <li>・防犯灯の設置等</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>           コミュニティ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧住民のコミュニケーションが必要</li> <li>・高齢化と農業の後継者不足が課題</li> </ul> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>           その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの投棄への対応</li> </ul> </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	課題	課題解決の方向性	都市機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道の整備</li> <li>・都市計画道路、町道、県道の整備等による交通渋滞緩和</li> <li>・登山者が急増している井野山林道の整備</li> <li>・少子高齢化への対応</li> <li>・冠水・土砂崩れ対策、災害時等に対する安全安心まちづくり</li> <li>・くつろげる場の整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけ、見守り運動の推進</li> <li>・井野山を活用した交流の活性化や環境保全のための、井野山環境を守る会等の立ち上げ</li> <li>・災害時のう回路の整備</li> <li>・防犯灯の設置等</li> </ul>	コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧住民のコミュニケーションが必要</li> <li>・高齢化と農業の後継者不足が課題</li> </ul>		その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの投棄への対応</li> </ul>	
課題	課題解決の方向性								
都市機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道の整備</li> <li>・都市計画道路、町道、県道の整備等による交通渋滞緩和</li> <li>・登山者が急増している井野山林道の整備</li> <li>・少子高齢化への対応</li> <li>・冠水・土砂崩れ対策、災害時等に対する安全安心まちづくり</li> <li>・くつろげる場の整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけ、見守り運動の推進</li> <li>・井野山を活用した交流の活性化や環境保全のための、井野山環境を守る会等の立ち上げ</li> <li>・災害時のう回路の整備</li> <li>・防犯灯の設置等</li> </ul>								
コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧住民のコミュニケーションが必要</li> <li>・高齢化と農業の後継者不足が課題</li> </ul>									
その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの投棄への対応</li> </ul>									
3. 地区の将来像									
<p align="center"><b>井野山・井野川の自然と共生し、安全・安心に生活できる 街づくり！！</b>  <b>「スローライフ IN0」</b></p>									
4. 地区における重点的な取り組み									
<p>豊かな自然環境のもと、住民相互のコミュニケーションのとれた安全・安心なまちづくりを目指します。</p>									
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井野川・内野川をホタルの舞う川に</li> </ul>								
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民と井野山利用者との共働（自然を守る活動など）</li> <li>・ボランティアの募集（井野山を守る会（仮）への入会の呼びかけ）</li> <li>・パトロールの継続（防犯意識の持続）</li> <li>・一人住まいの高齢者との連絡（声掛け）</li> <li>・子どもたちへの声掛け、見守り活動</li> <li>・お互いが笑顔でかわす「あいさつ」ができる地区づくり</li> </ul>								

### 3.2.3 第4回のまとめ

第4回で検討された「都市づくりの目標」、「重点的な取り組み内容」を、項目ごとに整理しました。

#### 宇美地域

##### 都市づくりの目標

##### 歴史・文化を感じる 住み良い 賑わいある 宇美地域

##### 重点的な取り組み内容

- ①中心拠点市街地の形成(中心地の活性化。西鉄ストア前の連続した歩道の確保。駐車場の確保(役場駐車場が満杯のことが多い))
- ②地域資源を活用した賑わい形成(宇美八幡宮への案内板の設置。地区の回遊コースの整備)
- ③転入しやすくなるような住環境の構築(安全な道の確保)
- ④緑道利用環境の向上(沿道の景観形成。緑道沿いの河川の美化)
- ⑤(都)志免宇美線の南側延伸部の早期整備

#### 宇美東地域

##### 都市づくりの目標

##### 自然(川、森) 防災 住みやすい・住み続けたい里 老いも若きも(少子高齢化解消)

##### 重点的な取り組み内容

- ①生活利便施設の立地誘導
- ②地域公共交通対策(バスが少なく陸の孤島となっている)
- ③防災対策(河川改修。山の保水機能(管理の促進)。ハザードマップの周知・啓発。防災無線を明瞭に聞こえるようにする)

##### [その他の意見]

- ・専用住宅地の良好な住環境の保全
- ・住宅地近くでの工場立地対策(立地前に地区への十分な説明が必要。トラックを通行規制する時間を設けるなど道路の安全性を確保する。用途未指定箇所の指定を検討する)
- ・自然の有効活用(公園を地域住民の要望に応じた活用ができるように住民も共働で管理する)
- ・道の駅の整備((都)粕屋宇美線の整備に合わせて配置する)



町民まちづくり検討会の様子

## 原田地域

### 都市づくりの目標

#### 原田っ子が「誇り」と「愛着」を持てる安全・安心で快適な地区づくり

～豊かな人づくりお隣さんづくり 顔と声を広げる運動の推進～

### 重点的な取り組み内容

- ①防災対策(旧炭鉱住宅地等での防火水槽の貯水容量・貯水状況の確認。避難所の収容可能人数の確認(町民センターも活用))
- ②安全な道路環境の整備(歩道・信号整備。安全に歩ける通学路の確保。(都)木河太宰府線を横断する歩道橋のバリアフリー化)
- ③既存公園の改良(ボール遊びを可能にするなど地域要望に応じた規制の見直し。原田公園における降雨時の土砂流出抑制。総合スポーツ公園を一般利用者が利用しやすいように)
- ④(都)木河太宰府線と(都)粕屋宇美線を繋ぐ安全な道路の確保(既存道路は急なカーブが多く危険)
- ⑤バスの利便性向上(バス停周辺の草刈り(共働))

## 桜原地域

### 都市づくりの目標

#### 自然と笑顔がいっぱい 安心安全で元気なまち桜原

### 重点的な取り組み内容

- ①地域内の道路全般の交差点改良(特に(都)辻荒木佐谷線と(都)粕屋宇美線との交差点)
- ②多自然川づくり(河川沿いの歩道整備も実施する)
- ③がけ崩れ危険区域の対策
- ④林崎運動公園の有効利用
- ⑤旧炭鉱住宅等の環境改善
- ⑤バスの乗り換え空間の整備(セルフカフェ(公民館の活用)等の設置)

## 井野地域

### 都市づくりの目標

#### 井野山・井野川の自然と共生し、安全・安心に生活できる 街づくり！！

#### 「スローライフ INO」

### 重点的な取り組み内容

- ①安全・安心(危険箇所の把握(造成地の地盤の安全性。大雨時の地下水の湧出箇所等地区全般を対象に地区住民が知る危険箇所を整理)。→地域のハザードマップを地域で作成。→通学路等重点的に取り組む場所から優先的に安全対策を実施)
- ②防災訓練の実施(町の支援が必要。訓練を通じて危険箇所を把握する)
- ②ひばりが丘から(都)志免宇美線を繋ぐ道路の整備(緊急輸送道路としての機能確保)

### [その他の意見]

- ・平成地区(転入者との交流。店舗の立地に際し住環境との調和に配慮する)
- ・避難施設の安全性の確認